

令和6年度 東京二十三区清掃一部事務組合の決算概要

東京二十三区清掃一部事務組合は、「基本計画・実施計画」に基づき、一般廃棄物の全量中間処理を担い、区民の信頼に応えるべく安全かつ安定した清掃工場等の効率的運営を行っています。

令和6年度の一般会計当初予算額は99.6億9,300万円、4回の補正予算編成後の最終予算額は101.2億2,600万円となりました。

決算額は下のグラフのとおりで、歳入が101.2億7,810万円、歳出が98.3億7,214万円増、歳出が9.83億7,214万円増（対前年度15.6%増）です。決算状況の詳細は「予算執行の実績報告」や「財政レポート」として、9月下旬にホームページでの公表を予定しています。

歳入 清掃工場建替工事など施設整備費の増に伴い、国庫補助金は増収となりました。自主財源である電力売払収入は、売電単価の下落により減少しました。また、廃棄物処理手数料は、持込ごみが増加傾向にあることにより増収となりました。

歳出 前年度に引き続き清掃工場の建替工事及び延命化工事、中防不燃・粗大ごみ処理施設の整備工事を実施しました。

このほか、埋立処分量の削減を図るため、引き続き焼却灰の資源化を実施し、経費は56億6,667万7,969円（10万1,985トン）でした。決算の主な内容は次のとおりです。

歳入決算の概要

◎分担金及び負担金

480億円
23区からの分担金収入です。

◎使用料及び手数料

148億8,711万6,796円
廃棄物処理手数料（14.7億9,558万2,362円）などです。

◎繰入金

37億7,709万5,000円
特別区分担金を抑制するため、財政調整基金から繰り入れ、財源対策を図りました。

◎諸収入

117億8,030万9,463円
ごみの焼却熱を利用した電力・熱エネルギーの売払収入（11.0億6,499万2,833円）と、ごみから回収した鉄・アルミニウムなど有価物の売払収入等です。

歳出決算の概要

◎議会費

847万8,354円
議会及び議会事務局の運営に要した経費です。

◎総務費

12億6,779万8,437円
本庁管理経費、安全衛生経費、企画広報経費などです。

◎清掃費

752億8,567万6,625円
施設の管理・運営経費である「清掃費」と、建替等の経費である「施設整備費」からなっています。

▼清掃費

46.9億3,286万7,466円
このうち、清掃工場等の運営に係る経費は38.3億8,165万8,488円、不燃・粗大ごみ処理施設の運営に係る経費は60億5,160万8,740円、し尿処理施設の運営に係る経費は2億3,358万4,955円、焼却灰等の埋立処分に係る経費は22億4,348万6,000円でした。

▼施設整備費

28.3億5,280万9,159円
施設整備計画に基づく事業のほか、清掃工場や不燃・粗大ごみ処理施設の機能向上を図るために要した経費です。

内訳は、江戸川清掃工場及び北清掃工場の建替工事、千歳清掃工場の延命化工事、中防不燃・粗大ごみ処理施設の整備工事等です。

場の延命化工事、中防不燃・粗大ごみ処理施設の整備工事等です。

職員費
10.9億7,228万8,995円
本庁及び清掃工場等に勤務する職員の人件費です。

◎公債費

54億2,781万6,244円
組合債の元金及び利子の償還に要した経費です。

◎諸支出金

54億1,009万5,000円
年度間の調整財源として、財政調整基金への積立を行いました。また、令和6年度から新たに施設整備基金を創設し、将来の施設整備のために積立を行いました。

（東京二十三区清掃一部事務組合 総務部財政課）

